

製品名: IRF5 (リン酸化 Ser437) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05783**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	IRF5
別名	Interferon regulatory factor 5 (IRF-5)
遺伝子 ID	3663.0
SwissProt ID	Q13568
免疫原	ヒト IRF5 (リン酸化 Ser437) 由来の合成ペプチド

背景

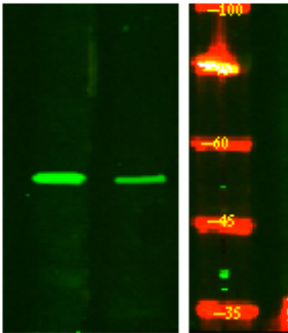
疾患: IRF5 遺伝子変異は、炎症性腸疾患 14 型 (IBD14) の感受性と関連している [MIM:612245]。炎症性腸疾患 (IBD) は、寛解期にあるクローン病 (CD) の一種である。CD は消化管のどの部分にも影響を及ぼす可能性があるが、最も多くみられるのは末端回腸

と結腸である。腸の炎症は腸壁全体に及び、不連続である。CD は一般的に自己免疫疾患に分類される。疾患: IRF5 遺伝子変異は、関節リウマチ (RA) の感受性と関連している[MIM:180300]。関節リウマチは複雑な多因子疾患である。これは最も一般的な自己免疫疾患の一つであり、滑膜組織の炎症と関節破壊を特徴とする。疾患: IRF5 遺伝子の変異は、全身性エリテマトーデス 10 型 (SLEB10) [MIM:612251]の感受性と関連している。全身性エリテマトーデス (SLE) は、慢性の炎症性で、しばしば発熱を伴う結合組織の多臓器疾患である。主に皮膚、関節、腎臓、漿膜に影響を及ぼす。自己免疫系の制御機構の不全を示すと考えられている。類似性: IRF ファミリーに属する。類似性: トリプトファン・ペントッド・リピート DNA 結合ドメインを1つ含む。

研究分野

免疫学

画像データ



LPS 処理または未処理の HeLa 細胞を、一次抗体を 1:1000 希釈でウェスタンブロット分析した。二次抗体は 1:10000 希釈で行った。